

# NEWS RELEASE

2019年7月17日

日本豆乳協会

SOY1906

## 日本豆乳協会

**2019年度、豆乳による食育を中心に、様々な啓発活動を展開  
～「いつでも、どこでも豆乳生活」をテーマに、  
様々なイベントの実施やコミュニケーションツールを通して  
豆乳の特長や優位性を訴求～**

日本豆乳協会（事務局：千代田区二番町 会長：重山 俊彦 キッコーマンソイフーズ株式会社 取締役会長、事務局長：川村良弘、以下豆乳協会）では、2019年度、さらに、一般生活者に豆乳の特長や優位性を訴求するため、様々なイベントやコミュニケーションツールを活用して消費者への啓発活動を積極的に展開します。

本年度は、「いつでも、どこでも豆乳生活」をテーマに掲げました。このテーマには、子供から両親、祖父母にいたる家族全員が、毎日、豆乳を飲み、そして、日常的に豆乳を使った料理を食す機会を創出してほしいという想いが込められています。

さらに、昨年につき全国の高等学校で、豆乳や大豆に関する食育講義、「豆乳食育移動教室」を開催します。「第6回豆乳レシピ甲子園」や「第7回豆乳資格検定試験」の実施、たんぱく質の摂取によるアスリート支援として、全国の高等学校での豆乳のサンプリング、そして、「第4回スポーツ×豆乳」等を展開していきます。

また、豆乳協会では、ホームページをはじめ、オウンドメディア「豆乳生活」、ニュースレター等の様々なコミュニケーションツールを通して、タイムリーに豆乳に関する情報を発信していきます。

(参考)

日本豆乳協会は、豆乳および豆乳製品の普及を第一の目的に啓発活動を行っています。1979年（昭和54年）9月1日の設立以来、豆乳メーカー各社が会員となり、メーカー同士の親睦や情報交換、さらには他の機関や団体との協調を図っています。豆乳類の製造、加工、品質、流通に関する研究はもちろん、業界の健全な育成、発展に寄与することをミッションに日々、豆乳の普及や期待される効果・効能の啓発活動を推進しています。毎年10月12日を「豆乳の日」と定め、業界全体を巻き込んで豆乳の普及に向けた様々な活動を展開しています。

<本件に関する報道からのお問い合わせ先>

日本豆乳協会広報事務局  
(株)VA インターナショナル  
田中・平井

TEL:03-3499-0016 FAX:03-3499-0017